

### 水処理センター

#### 消毒

きれいになった水を消毒して川に放流します。

#### 最終沈殿池

ゆっくりと水を流して汚れと微生物を沈めます。

#### 反応タンク

微生物が汚水の中の汚れを食べると沈みやすい固まりになります。微生物の働きを助けるために空気を送ります。

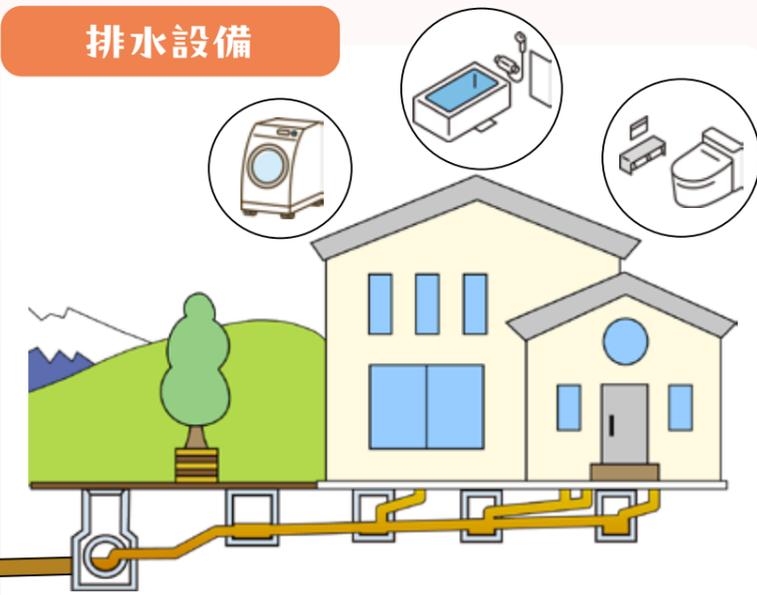
#### 最初沈殿池

ゆっくりと汚水を流して、小さな汚れを沈めていきます。

#### 沈砂池

大きなごみや砂を沈めて、取り除きます。

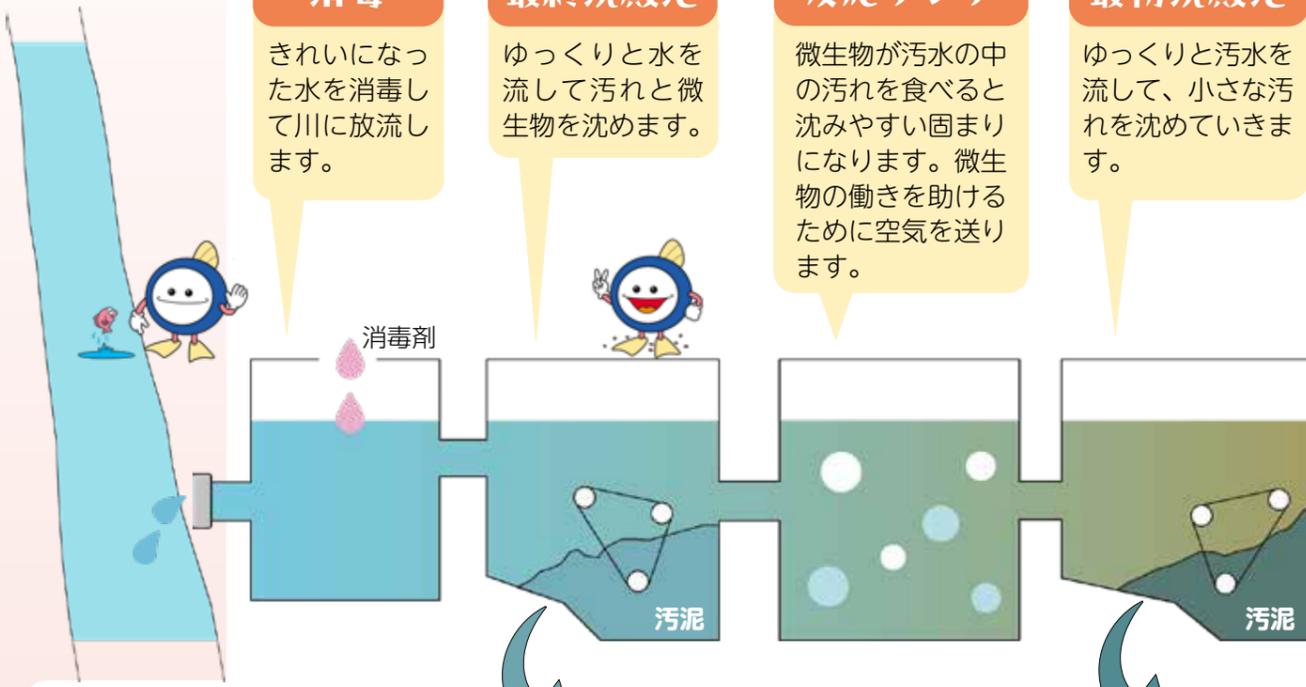
### 排水設備



建物や敷地から排出される汚水を公共下水道に接続するための排水管などを排水設備といいます。

皆さんの家や学校から出た汚水を水処理センターまで運びます。

家庭などから出た汚水は、市の水処理センター(黒磯、塩原)と、県の北那須浄化センターで処理をしています。これらの水処理センターの働きと、下水道がない区域はどのように汚水が処理されているのかを紹介します。



### お得意 汚泥の処理

#### 建設資材利用



#### 緑地・農地利用



#### エネルギー利用



汚水を処理をするときに汚れや微生物が沈んで泥状になったものを下水汚泥といいます。現在は、セメントなどへの建設資材化が主流です。国は、肥料としての利活用を推進しています。

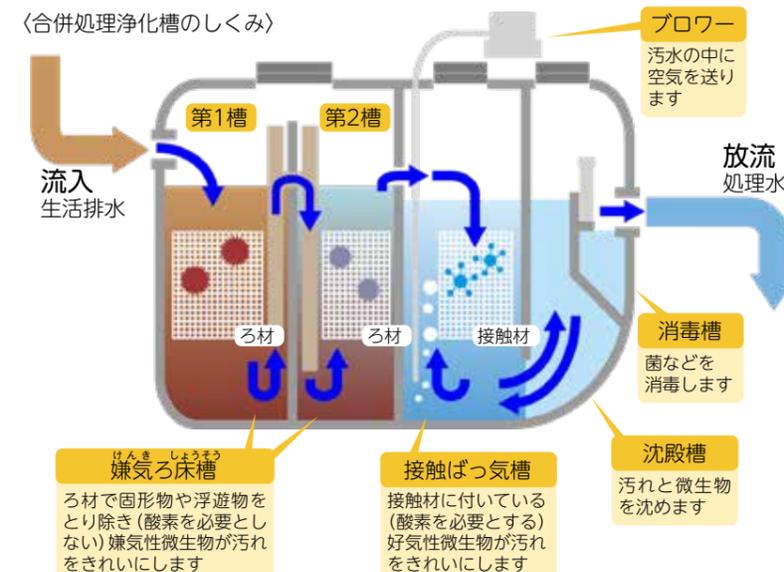


### 下水道がない区域(浄化槽)

下水道がない区域は、浄化槽(合併処理)を設置します。浄化槽は、微生物の働きにより汚水を浄化する恒久的な汚水処理施設です。

浄化槽の設置や、使用開始などには届け出が必要です。設置する要件によって、費用の一部を補助する制度が利用できます。

〈合併処理浄化槽のしくみ〉



### 排水設備の工事



水洗トイレや宅地内の配管などの排水設備工事は、市が指定した工事店のみが行えます。指定工事店は、工事だけでなく、市への手続きや関係書類の作成なども行います。



### 下水道施設の維持管理

汚水をきれいな水に戻すため、水処理センターでは、汚水処理に使う薬品や電気料、施設を運転管理する費用(維持管理費)がかかります。この費用は下水道を使用している人に負担してもらう「下水道使用料」をあてていますが、それだけでは間に合わないため、税金も使われています。また、維持管理費のほかに、施設を建設するための費用(資本費)もあり、下水道事業費の経費や財源には種類があります。次回は下水道事業の財政状況について紹介します。



〈黒磯水処理センター〉



〈反応タンク〉